

# 営農情報

第111号平成23年9月12日発行

(水 稲)

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 1 水稲の成熟期予想

梅雨明けが早く日照に恵まれたため、水稲の出穂期は平年並～やや早くなりました。今後の気温が平年並で推移した場合、成熟期は以下のとおりと予想されます。

品種	今年の出穂期	成熟期予想
元気つくし	8月21～22日	10月1日頃
ヒノヒカリ	8月27～28日	10月7日頃
つやおとめ	8月30～31日	10月13日頃
あきさやか	9月2～3日	10月17日頃
ヒヨクモチ	9月6～7日	10月24日頃

※刈取り適期幅は、成熟期の前4日～後4日程度。

※成熟期とは、黄色い籾が80%程度になった時期、かつ、穂軸の先端から1/3以上が黄化した時期。

※刈取り適期のもみ水分は、28～22%。

## 2 水稲収穫前の水管理

- (1) 水のためっぱなしは、根痛みを助長するとともに倒伏しやすくなります。また、田面の乾かしすぎは、充実不足等の原因になるので間断かん水を行きましょう。
- (2) 落水時期は、コンバイン収穫に支障のない限り、出来るだけ遅くします。目安として、刈り取りの7～10日前に行います。

特に、晩生品種では落水が早すぎる傾向にあります。落水が早いと、うす茶米や胴割れ米、未熟粒が発生するなど品質（等級）が低下します。